



1) 《ドップ：清潔な子どもの日》 1954年 ポスター（リトグラフ、紙） パリ市フォルネー図書館蔵 ©Annie Charpentier 2018

サヴィニャック パリにかけた ポスターの魔法

本展のみどころ

- 20世紀フランスを代表するサヴィニャックの主要なポスター約90点を展示します（原画や資料、その他の作家による作品なども含めると総出品数は200点以上）。
- 出品作品の中には、最大で約3m×4mの巨大なポスターも含まれています。これらは、実際にパリの街角や地下鉄の構内に貼り出されていたものと同じサイズであることから、当時のポスターの大きさを体感できます。
- 原画やデッサン、スケッチブック、画材も合わせて展示することで、サヴィニャックによるポスター作りの過程もご覧いただくことができます。
- サヴィニャックの師匠であるカッサンドルの作品、サヴィニャックの姿を捉えたロベール・ドアノーの写真、サヴィニャックのポスターが掲示された街角を写した木村伊兵衛の写真などにより、サヴィニャックと彼をとりまく芸術家たちとの関係にも迫ります。

展覧会概要

レイモン・サヴィニャック（1907–2002）はフランスを代表するポスター作家です。《牛乳石鹸モンサヴォン》（1948/50年）に代表されるように陽気でシンプルな彼の作品は、それまでの伝統だった装飾的な要素を排したことでポスターの様式を一新しました。「どのようにメッセージを届けるか」という永遠の課題に対して彼が出した答えは、商品に人や動物のモチーフを組み合わせ、明快な造形と色彩によって視覚的なインパクトを与えることでした。さらに、彼が生まれ育ったパリに息づくユーモアとエスプリが加わり、人々を一瞬で虜にする不思議な魅力が生まれています。身近な食料品や日用品からシトロエンやダンロップ、ティファールなど実に多様な広告を担ってきたサヴィニャックのポスターは、パリにとどまらず世界中の人々に今日もなお愛され続けています。

本展覧会は、ポスターと合わせて原画や関連作品も展示することでサヴィニャックの仕事を多角的に捉えようと試みるものです。中でも、パリの街角を賑わせた巨大なポスター群は私たちに新鮮な驚きを与えてくれるでしょう。そうした街中の様子を捉えたロベール・ドアノー（1912–1994）や木村伊兵衛（1901–1974）の写真からは、20世紀フランスという時代と場所の空気も伝わってきます。道行く人々の心を躍らせ、街を彩ったポスターの役割に思いを馳せながら、それらを魔術師のように操ったサヴィニャックの世界をご堪能ください。



参考）木村伊兵衛《ポスターのあるパリ風景》1954年、2017年リプリント
 写真（ゼラチンシルバープリント） 木村・田沼コレクション



参考）《ジターヌ》1954年 ポスター（リトグラフ、紙）
 パリ市フォルネー図書館蔵 ©Annie Charpentier 2018

開催情報

特別展「サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法」

会期 2018年10月27日〔土〕－12月24日〔月・振替休日〕
開館時間 午前10時－午後6時（金・土曜日は午後8時まで）
入場は閉館の30分前まで
休館日 月曜日（ただし12月24日〔月・振替休日〕は開館）
会場 兵庫県立美術館
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
TEL:078-262-0901 <https://www.artm.pref.hyogo.jp>

主催 兵庫県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
後援 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、公益財団法人 伊藤文化財団、兵庫県、
兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会
特別協力 パリ市、公益財団法人 日本教育公務員弘済会 兵庫支部
協力 日本航空
特別協賛 大日本印刷
協賛 ライオン、損保ジャパン日本興亜、サントリーコミュニケーションズ株式会社、
TKG Foundation of Arts & Culture、住友ゴム工業株式会社
助成 一般財団法人 安藤忠雄文化財団
企画協力 DNPアートコミュニケーションズ

観覧料金 一般1,300 (1,100) 円、大学生900 (700) 円、70歳以上650 (550) 円 ※高校生以下無料
※()内は前売および20名以上の団体料金。前売券は8月26日から10月26日まで販売。70歳以上は
前売なし。
※障がいのある方（70歳以上を除く）は各当日料金の半額、その介護の方1名は無料。
※大学生、70歳以上の当日券の購入および障がい者割引の適用には証明が必要。割引を受けられる方は、
会期中に美術館窓口で観覧券をお買い求めください。
※県美プレミアム展は別途観覧料が必要（本展とあわせて観覧される場合は割引あり）。
※主な販売場所：JTBレジャーチケット（セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、サークル
K・サンクス、ミニストップ／前売券：0249108、当日券：0249109）
※金額はいずれも消費税込の金額。

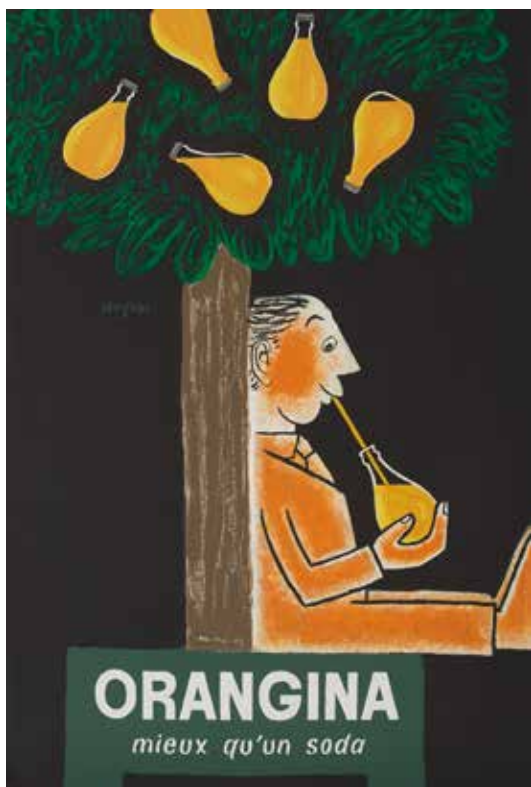


2) 《牛乳石鹸モンサヴォン》1948/1950年
ポスター（リトグラフ、紙）パリ市フォルネー図書館蔵
©Annie Charpentier 2018

ポスターの魔術師サヴィニャックが誕生するまで

10代の頃から絵を描き始めたサヴィニャックは、夜間学校で工業デザインを学び、就職した広告アニメーション映画工房でポスターを複製していました。26歳の頃、巨匠カッサンドルに出会ったことで本格的なポスターの制作を手掛け始めます。この巨匠の影響を受けながらも、サヴィニャックは独自の方向性をつかんでいきました。

- 1 幼年期～ポスターに魅入られるまで
- 2 カッサンドルに学ぶ
- 3 戦時中・戦後の時代
- 4 サヴィニャックと出版物



3) 《オレンジーナ：ソーダより美味しい》2001年（1964年制作の原画による初刷）ポスター（リトグラフ、紙）
 テイエリー・ドゥヴァンク・コレクション
 ©Annie Charpentier 2018



4) 《森永ミルクチョコレート》1958年
 ポスター（オフセット印刷、紙）
 トゥルーヴィル市ヴィラ・モンテペロ美術館蔵
 ©Annie Charpentier 2018



5) 《フリジエコ：良質の冷蔵庫》1959年 ポスター（リトグラフ、紙）
 パリ市フォルネー図書館蔵 ©Annie Charpentier 2018

10の項目から見つめるサヴィニャックのポスター

41歳の時にベルナール・ヴィルモと開催した二人展で牛乳石鹸モンサヴォンのために制作したデザインが注目され、サヴィニャックのポスターは一躍人気となりました。それからは、大企業が売り出す食品、嗜好品、生活必需品といった身近な商品から、運輸業やメディア、その他のキャンペーンなど幅広いジャンルのポスターが生まれました。「ヴィジュアル・スキャンダル」とも称されたサヴィニャックの作風を、10の項目に分けて見ていきます。

[トピック] ベルナール・ヴィルモとの二人展：サヴィニャック独自の画風の幕開け

1 動物たち

[トピック] モンサヴォン・ポスターの誕生

2 オトコの人、オンナの人

3 働く人

4 製品に命を吹き込む

5 子どもたち

6 指さすヒト

7 自動車とその部品

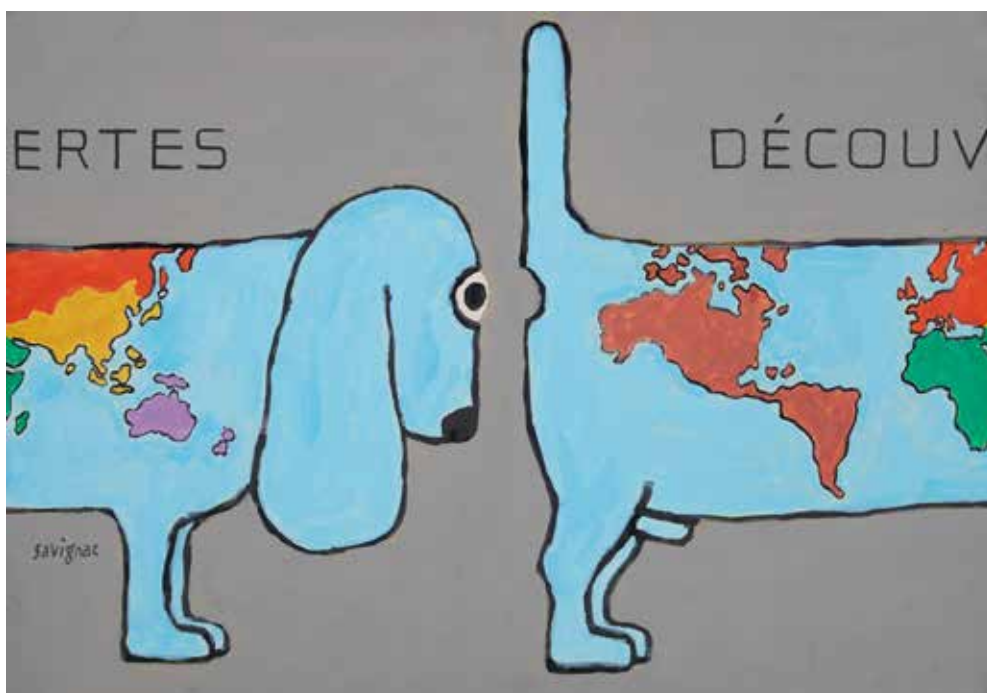
8 タバコ

9 ビック（ボールペン）

10 パリ



6) 《ダンロップタイヤで出発》1953年 ポスター（リトグラフ、紙）
 パリ市フォルネー図書館蔵 ©Annie Charpentier 2018



7) 《「デクーヴェルト／発見」原画》1990年頃 原画（アクリル絵具、厚紙） ティエリー・ドゥヴァンク・コレクション ©Annie Charpentier 2018



8) Portrait de Savignac, ©Danièle Costes-Lombard



8) Portrait de Savignac, ©Danièle Costes-Lombard

- 1907年 11月6日パリに生まれる。
- 1920年 中学では商業科のクラスに入るがそこでの勉強を好きになれない。自転車競技に夢中になるもチャンピオンになる夢はあきらめる。
- 1923年 STCRP（パリ地域公共交通公団）の図案画工となり、夜学で工業デザインを学ぶ。
- 1925年 ロベール・ロルタックの広告アニメーション映画工房に入社。
- 1929年 1年半の兵役を終えてロルタックのスタジオに戻る。ポスターデザインを試みながら数年の間取るに足らない仕事を続ける。
- 1933年 大胆にもアリアンス・グラフィック社を訪ね、A. M. カッサンドルに自分の作品を見せたところ、その場で彼のアシスタントになった。サヴィニャックの経歴の最初の転機となる。
- 1938年 モンルージュのドラジュール兄弟印刷所にポスター下絵師・図案家として入社。
- 1939年 第二次世界大戦宣戦布告と同時に召集される。
- 1940年 従軍休暇中、マルセル・メルシエと結婚。独仏休戦協定が結ばれ、サヴィニャックはパリに復員する。
- 1942年 広告コンソーシアム社（ロリアル社傘下の広告代理店）のプロデューサー、ロベール・ゲランと出会う。
- 1944年 広告コンソーシアム社の仕事をしながら、広告会社アルジャンヴィックとも仕事を始める。
- 1947年 広告コンソーシアム社を解雇される。
- 1948年 旧知のベルナル・ヴィルモと再会。ヴィルモは行き場のないサヴィニャックを自分のアトリエに誘う。
- 1949年 ヴィルモと二人展を開催し、大きな成功を収める。この展覧会でロリアル社を創設したウージェーヌ・シュレールはモンサヴォン石鱈の牝牛を発見し自社の広告に採用、サヴィニャックはポスター作家として真のデビューを果たす。
- 1950-60年代 サヴィニャックの最も有名な作品が次々と生まれたのは50年代と60年代。60年代の終わりには広告代理店好みの写真ポスターに押しやられる形で手描きポスターは衰退の一途をたどる。サヴィニャックの活動もその影響を受けるが、それでも多くのポスターや他の仕事も手掛ける。
- 1981年 「前へ、シトロエン！」キャンペーンの注文を受ける。1984年まで続いたこの仕事が、サヴィニャックの最後の商業的な大成功となる。
- 1982年 妻と共にノルマンディー海岸のトゥルーヴィル＝シュル＝メールに移住。この街で皆に大歓迎され充実した晩年を過ごす。地元からフランス国内外からそして日本から仕事の依頼は途切れることがなかった。大小様々なサヴィニャックの展覧会が次々に開催される。
- 2002年 10月29日、町の英雄としてトゥルーヴィルで皆に惜しまれながら亡くなった。

記念講演会「レイモン・サヴィニャックの足跡をたどって」

講師：ダニエル・コスト＝ランバール氏（映画監督） 10月27日（土）

ドキュメンタリー映画「街路の人サヴィニャック」の監督であり、本展でもその映像の一部が上映されるコスト＝ランバール氏に、間近で見たサヴィニャック像についてお話をさせていただきます。

記念講演会「レイモン・サヴィニャック：そのアイデアとユーモア」

講師：植木啓子氏（大阪新美術館建設準備室 研究副主幹） 11月25日（日）

デザインがご専門で 2005 年の「レイモン・サヴィニャック展」（サントリーミュージアム天保山）を担当された植木氏に、専門家の目で見えたサヴィニャック作品の魅力についてお話をさせていただきます。

いずれもミュージアムホールにて午後2時より（約90分） 聴講無料（定員250名、要観覧券）

「芸術の館友の会」会員優先座席あり

学芸員による解説会

11月17日（土）、12月1日（土）いずれも午後4時～（約45分） レクチャールームにて

聴講無料（定員先着100名）

ワークショップ「はじめてのリトグラフ」

関西を拠点にリトグラフの制作・展示・ワークショップなどの活動を行う4人組のグループ Lighter but Heavier (LbH) からおふたりを講師に迎え、リトグラフについてのレクチャーや簡単な制作体験を行います。初心者の方もぜひご参加ください。

講師：衣川泰典氏、田中栄子氏（LbH）

12月8日（土） 午後1時～（約4時間）

アトリエ2（定員20名・要事前申込、応募者多数の場合は抽選） 対象：小学校4年生以上

参加費：1,500円 申込み方法：詳細は、以下参照。12月1日（土）申込締切。

ワークショップ「ダンロップものづくり教室：まわって 起き上がる 不思議なロボットを作ろう」

メカ工作キット「スクローラーII」をつくります。図面をたよりに、倒れてもひとりでの起き上がるロボットを組み立ててみましょう。

講師：NPO 団体コアネット 協力：住友ゴム工業株式会社

12月15日（土） 午後2時～（約2時間）

アトリエ2にて（定員30名・要事前申込、応募者多数の場合は抽選）

対象：小学校5年生以上 申込み方法：詳細は、以下参照。12月8日（土）申込締切。

ワークショップの申込み方法：当館ホームページのサヴィニャック展関連イベントページより、申込み専用フォームに必要事項を入力のうえ、送信してください。

ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中毎週日曜日 午前11時～（約15分） レクチャールームにて 聴講無料（定員先着100名）

おやこ解説会

11月10日（土） 午後1時半～（約1時間）

レクチャールームにて 聴講無料（定員先着20組・要事前申込）

こどものイベント係 TEL.078-262-0908（10月10日（水）午前10時より受付開始）

※詳しい情報は当館ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先

兵庫県立美術館

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

TEL: 078-262-0901 (代) FAX: 078-262-0903 (代)

<https://www.artm.pref.hyogo.jp>

取材・画像提供に関すること

営業・広報担当

TEL: 078-262-0905 (担当直通) FAX: 078-262-0903

展示内容に関すること

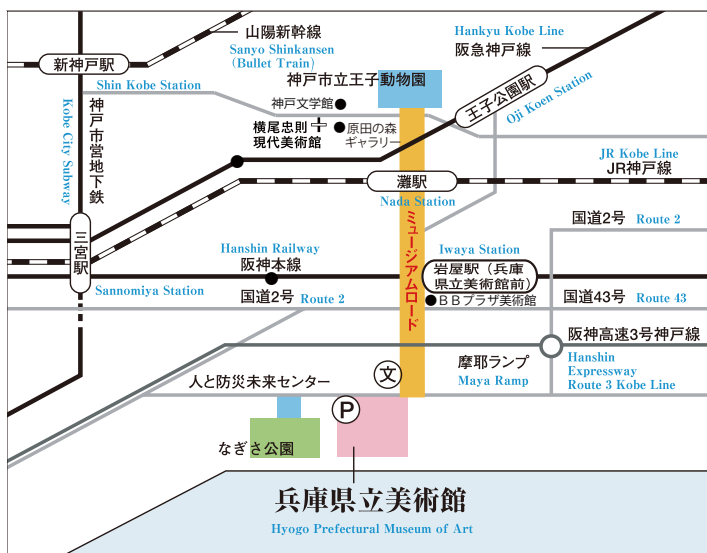
担当学芸員：小野尚子、江上ゆか

e-mail: ono@artm.pref.hyogo.jp

TEL: 078-262-0909 (学芸直通) FAX: 078-262-0913 (学芸直通)

【交通案内】

- ・ 阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から南に徒歩約8分
 - ・ JR神戸線灘駅南口から南に徒歩10分
 - ・ 阪急王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
 - ・ JR三ノ宮駅南から神戸市バス（29、101系統）阪神バスにて約15分
HAT神戸方面行き「県立美術館前」下車すぐ
 - ・ 地下駐車場（乗用車80台収容・有料）
- *ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください
 *団体バスでお越しの場合は、バス待機所のご予約をお願いします。



広報用画像について留意事項

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。末尾の「申込書」をご使用ください。

○作品画像を媒体掲載される際には、「申込書」に記載の作家名・作品名・制作年などを必ず入れてください。

○作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・変更はできません。

○画像データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません（会期終了まで）。

○再放送、転載など二次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。

○基本情報、図版使用の確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で「営業・広報担当」までお送り願います。

○展覧会場の取材、撮影をご希望の場合についても、「営業・広報担当」までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。

○本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体（VTR/DVD）、URLなどを、「営業・広報担当」宛てに、1部お送りくださいますようお願いいたします。

関西文化の日

当館では2018年11月24日（土）・25日（日）に、多彩なプログラムを開催します（「県美プレミアム」は観覧無料）。

広報画像申込書

特別展「サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法」 2018年10月27日 [土] - 12月24日 [月・振替休日]

※ご希望の画像の番号に○をつけてください。後日データをお送りいたします。

1	《ドップ：清潔な子どもの日》1954年 ポスター（リトグラフ、紙） パリ市フォルネー図書館蔵 ©Annie Charpentier 2018
2	《牛乳石鹸モンサヴォン》1948/1950年 ポスター（リトグラフ、紙） パリ市フォルネー図書館蔵 ©Annie Charpentier 2018
3	《オランジーナ：ソーダより美味しい》2001年（1964年制作の原画による初刷） ポスター（リトグラフ、紙） ティエリー・ドゥヴァンク・コレクション ©Annie Charpentier 2018
4	《森永ミルクチョコレート》1958年 ポスター（オフセット印刷、紙） トゥルーヴィル市ヴィラ・モンテペロ美術館蔵 ©Annie Charpentier 2018
5	《フリジェコ：良質の冷蔵庫》1959年 ポスター（リトグラフ、紙） パリ市フォルネー図書館蔵 ©Annie Charpentier 2018
6	《ダンロップタイヤで出発》1953年 ポスター（リトグラフ、紙） パリ市フォルネー図書館蔵 ©Annie Charpentier 2018
7	《「デクーヴェルト／発見」原画》1990年頃 原画（アクリル絵具、厚紙） ティエリー・ドゥヴァンク・コレクション ©Annie Charpentier 2018
8	Portrait de Savignac, ©Danièle Costes-Lombard ※いずれかに○をつけてください（ カラー ・ モノクロ ）
*	住友ゴム工業株式会社さまのニュース・リリース掲載の作品図版《ダンロップタイヤ》をご希望の方 （「*」印に○をつけてください）

※上記の画像を媒体掲載される際には、前頁「広報用画像について留意事項」をご一読ください。

●貴媒体についてお知らせください。

○貴社名：

○媒体名：

（新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・ウェブサイト・その他）

○ご担当者名：

○メールアドレス：

ご連絡先 ○電話番号：

○FAX 番号：

○ご住所： 〒

○URL：

○掲載・放送予定日：

○画像到着希望日：

○読者・視聴者プレゼント用招待券：

組

名

様分を希望

（最大5組10名まで。本展を媒体でご紹介いただける場合に限りです）